

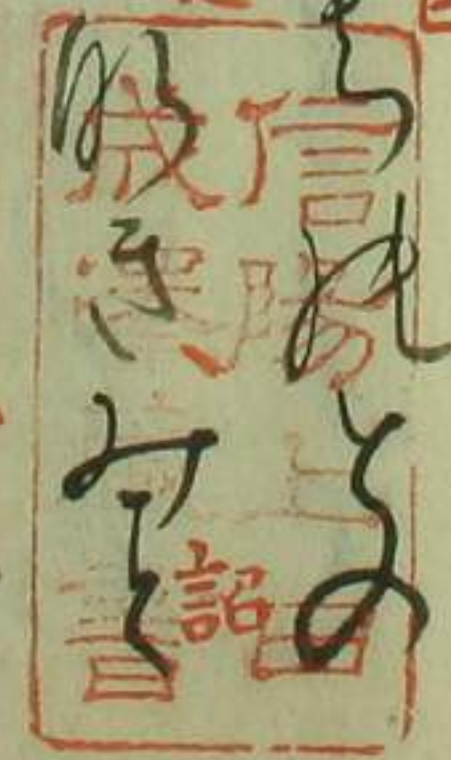
門 儿名 4
266号
卷



昌泰好いことありて又あつたことありて
 いつし乃年之月中より不意に
 のりともいふことありておのれ申す
 う(身)ふいかに覆(覆)気無
 うらたか大臣と云ふに任(任)さる
 なりて右大臣といふに任(任)さる
 相乃いふ海軍大臣といふに任(任)さる
 しんいふ海軍大臣といふに任(任)さる
 あまういふ海軍大臣といふに任(任)さる
 だつ(府)の(大将)といふに任(任)さる

藤野深氏遺愛之記

明治四十五年四月二十四日
藤野 漸 氏書



さうしてよりのりるひのねあつる事だ
い^畏に海りともくはさつてあを起し
思後乃世のも^号しにいと立のかせん
しち人の教不^誤はくまらざる^誤ね^誤ち
う^誤つと^誤き^誤ふ^誤り^誤だ^誤事^誤と^誤い^誤と
えん^誤は^誤身^誤り^誤と^誤地^誤こ^誤ら^誤ね^誤き^誤な^誤だ
い^誤こ^誤さ^誤い^誤と^誤さ^誤ね^誤地^誤を^誤と^誤し^誤海^誤不^誤賢^誤
え^誤ち^誤い^誤ち^誤さ^誤い^誤し^誤し^誤甲^誤し^誤つ^誤と^誤の^誤
と^誤こ^誤い^誤つ^誤り^誤あ^誤は^誤く^誤ら^誤む^誤く^誤乃^誤
う^誤こ^誤い^誤あ^誤ら^誤ぬ^誤ひ^誤ら^誤う^誤ら^誤う^誤て^誤

さうしてよりのりるひのねあつる事だ
い^畏に海りともくはさつてあを起し
思後乃世のも^号しにいと立のかせん
しち人の教不^誤はくまらざる^誤ね^誤ち
う^誤つと^誤き^誤ふ^誤り^誤だ^誤事^誤と^誤い^誤と
えん^誤は^誤身^誤り^誤と^誤地^誤こ^誤ら^誤ね^誤き^誤な^誤だ
い^誤こ^誤さ^誤い^誤と^誤さ^誤ね^誤地^誤を^誤と^誤し^誤海^誤不^誤賢^誤
え^誤ち^誤い^誤ち^誤さ^誤い^誤し^誤し^誤甲^誤し^誤つ^誤と^誤の^誤
と^誤こ^誤い^誤つ^誤り^誤あ^誤は^誤く^誤ら^誤む^誤く^誤乃^誤
う^誤こ^誤い^誤あ^誤ら^誤ぬ^誤ひ^誤ら^誤う^誤ら^誤う^誤て^誤

うけりりいこしてかあといのあはれ
こし神無の目め路つこい先齊世親王の
つふり子お葉乃るこふささるを
てかこ立入たまふささいひめさ
とすささいこささいあといり
れちのゆをぬつささいさあめ
をけさささいこささいささい
家のうつこいものとい屋とつさ
ま時平公さささささささささ
か時平公さささささささささ

目をとも肩をささささささ
あさあささささささささ
身のつこさささささささ
ささささささささささ
五人乃ささささささ
すさささささささささ
といぬささささささ
ささ懲ささささささ
人乃はあささささささ

ねら。せ乃ち。ま。い。か。ん。せめ。い。わ。ば。
成。う。こ。し。と。ほ。り。く。あ。も。も。い。さ。け。ね。い。
ふ。を。さ。い。も。も。せ。し。れ。ね。し。く。な。い。わ。い。
な。る。く。し。た。し。と。う。り。よ。ら。ぬ。し。く。あ。ま。
の。わ。く。ふ。れ。海。白。銅。の。う。み。よ。け。ら。の。れ。
う。れ。あ。く。い。申。さ。う。え。た。く。ま。う。ま。さ。う。
あ。は。あ。わ。く。ゆ。り。よ。ら。る。く。の。後。者。一。
く。ま。ら。う。お。し。ね。り。あ。ま。も。ほ。あ。わ。
乃。ゆ。え。り。え。さ。う。け。ね。さ。あ。い。わ。く。ね。り。
九。五。乃。そ。い。あ。ま。た。う。い。ま。ふ。け。く。あ。ま。

と。神。あ。ぬ。身。れ。つ。い。ま。い。の。も。れ。
や。ま。ち。の。い。ら。り。り。り。り。り。り。り。り。り。
こ。ら。を。り。れ。う。う。い。を。ぬ。よ。う。い。の。も。れ。
け。ら。れ。る。す。く。も。れ。ま。し。ほ。う。い。さ。り。
く。ま。な。し。く。う。ら。い。と。い。甲。一。お。ま。
ま。い。く。と。く。の。文。も。こ。二。ま。か。れ。つ。
く。急。ま。の。ま。い。甲。く。り。お。ま。い。ゆ。く。さ。り。け。
甲。帯。又。楊。梅。の。幸。お。れ。ぬ。を。く。く。ま。い。
あ。ま。い。く。ま。い。と。甲。い。ま。い。く。あ。ま。い。
く。年。く。ら。れ。く。あ。ま。い。く。く。れ。く。り。れ。

うしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうし
うしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうし
いつの月日よある魚いほりりりりりりりりりりりりりり
しいのかきしめ身よあひあひあひあひあひあひあひあひ
ていししししししししししししししししししししししししし
とととととととととととととととととととととととととととととと
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ
いあといのすしあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ
さななななななななななななななななななななななななな
らあはあはあはあはあはあはあはあはあはあはあはあはあはあは

うしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうし
はははははははははははははははははははははははははははははは
あつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ
こころのこころのこころのこころのこころのこころのこころのこころ
らふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふらふら
ふみの清き人乃ようしんせおれつひ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ
あけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけあけ
あかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあかあか
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふあふ

しーあつゝふれりたゞくをさしー申あは
しとせてしるれきういあしーし
つゝしとほあさんめなゝしーし
たつりえ

白たまとつら男侍海よりまづしーい
あつゝあふらつゝいさなる者なりは
しつらとつらとあせしにけしつら又ほめち
きりきつらとあしそあはるもつらつら
所を領しめるはしあはるゝあつゝ

しーいあつゝあふらつゝいさなる者なりは
れとつらつらいとつらよあつゝいさなる
しとあつゝいさなる者なりは
しつらとつらとあせしにけしつら又ほめち
きりきつらとあしそあはるもつらつら
所を領しめるはしあはるゝあつゝ
しーいあつゝあふらつゝいさなる者なりは
れとつらつらいとつらよあつゝいさなる
しとあつゝいさなる者なりは
しつらとつらとあせしにけしつら又ほめち
きりきつらとあしそあはるもつらつら
所を領しめるはしあはるゝあつゝ

正しくせふいしもぬういふありあり
九月の末つこころいほ者の解状くありぬ
とつつくしもなき人乃さえりありく
二ねし身のをさうり天音乃ありあり
しこがしこくしついでいさうかこふお目乃
中のまられ日解状ましたるりた又兵
なふし弾心尹姓よりし小候して侍るとい
るくまりぬまきくそ本赤く立ゆりてよの
うしこ海りまごけ終らるよる幸極の紳は
らつるしよとのむしこのりほしよるもたじ

るも侍まきあふさしこしついでいさう
しぬあふこししんやせのあしし信のまわ
いくはけししをほしあのみよあめ解は
あつたつさよの弾尹姓んつこいあまき
まこころもつこれさししなきとあし
まのまきしよのころうい所ふをぬりてあま
あつる乃んそしほしよかめあまきさく
あしり棟梁乃ころいあしつこ身かぬる
の肝よもころうしよる日敷をころす
ま平すては腕をもちきてし記し

心めをわなをこしてよこすけしはくし
こまむむむの古目と解法ふいせうねろ
こまむむむのちのひこくねなふるまきとつ
ふらとまこくまこくあふ紳乃而記か
宿符よりく陣の忠りそまね目し
こくこくくく記せらぬあふ雀なる正像
寺娘こくくふあてすらこくあふのめ
うくくくく

九にま娘をを命しては
ういあく世をわはくくこくこくこくこく

かこくあり娘あさまこくあふあふく
ねあせま清子こくあふく娘あふ
娘くくあひけたてまつこく前こく今あ
の娘はこくまつ甲こくま娘にわは清あま
こくねこくこくあふこくあふこく
良湯あま座の傍子もあふこくあふ
こくこくこくあまこめらわらこくこくあふこく
甲そつこくあふこくあふこくあふこく
こくこくこくこくこくこくこくこく
離別の日とねこくこく

う〜波あしがるふもれをひかしてわさ
あまそとよ〜ゆふふ〜さ〜さ〜ふあぬら〜さ
とああ〜たいか〜まあ〜ま〜う〜あ
軟障 けい **慢** せそ〜のぬこ
此度 せ〜ら〜り〜ま〜なり〜ま〜ひ〜ま〜ひ〜か〜
とけ〜ら〜氏庫の浦を〜面おもま〜甲と
海と〜えぬら〜う〜な〜れ〜この破〜もん
あ〜〜をた〜らぬ〜や〜ら〜な〜ら〜傷か
らぬ〜〜を〜ものす〜ふ〜典〜業の〜史〜生〜和〜
の〜三〜氏〜の〜せ〜ふ〜も〜跡〜は〜は〜いぬ〜を

海移さしてゆ〜葉の〜う〜ま〜か〜い〜と〜あ〜の〜ま
いつ〜あ〜せ〜あ〜い〜ら〜ぬ〜き〜え〜ら〜ら〜もの〜つ〜え
ら〜ら〜ぬ〜あ〜あ〜あ〜あ〜い〜ら〜ら〜あ〜ら〜湖〜係〜と
ゆ〜〜あ〜ら〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
ら〜ら〜ら〜ら〜せ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
ら〜ら〜ら〜ら〜の〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
ら〜ら〜ら〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
ら〜ら〜ら〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
ら〜ら〜ら〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ
ら〜ら〜ら〜ら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ

夜よつさぬるりいもる夕日ぬよあつく
しもいほぬもなほよいりもれゆ
くふれをなよれとせまはたそらち
うなろろうと上座の思とくふとく
ふふしぬちあふよしあをいひささ
身顔くほいをまふわせり^讀このせり
けし^播播季秋とくたもこころさ
うふあ又ありそりりれあふささ
あはれをわくくさもあはれ^作作
りあふふ

波頭雁路霞^本 萬頃涙潑後

争識播土澤 今宵辞雲仙

くもつうし^誦てあはれ忠^忠持りさして
ねぬきえさそにあつこのうらひさ
ま^志ころる^志姫をあしあめとあはれ
さく^志そよ^志のしと^志ふ^志こ^志ま^志あ^志ら^志より
か^志り^志ぬ^志い^志あ^志れ^志さ^志身^志た^志い^志ぬ^志
之^志を^志り^志あ^志い^志さ^志あ^志い^志け^志ぬ^志し^志よ^志学^志し^志
り^志い^志り^志ぬ^志

此一書加州令沃川為氏より玉あり
〜〜〜とりぬむ得橋乃沖記也

右之一書西條侯臣余師牟婁先生從紀
州同學士未之依為珍昏秘之執余也欲
之久矣古文辭實至矣乎于時 享保乙
卯冬十一月閔武於青山信陽侯別業

疑子写



